



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2020年1月1日

発行NO 2020 - 28号

新年あけましておめでとうございます

「全日畜 理事会」から

私たち「全日畜」は、創立から12年目を迎えました。

私たちの畜産業は、安定した労働力確保課題、想像を絶する自然災害の多発、国際経済協定の影響、長期化する家畜伝染病の脅威など、多くの課題を抱えています。私たちは、こうした厳しい状況の下でも、国内外の畜産物需要に応えるため、それぞれの地域において、生産規模の拡大及び効率化により、畜産物の生産と質の維持・向上に努めているところです。



山田常務理事 引地監事 金子理事長 松永理事 安井理事
長嶋理事 橋谷理事 鶴菌理事 隅理事



(その他の役員のご紹介)

牧原理事 布施監事

(「全日畜」は畜種横断の畜産経営者の団体です)

全日畜は、今年も意欲ある畜産経営者が、継続して、安全で安心な畜産物を安定的に供給できるよう、全日畜活動をとおして支援して参ります。特に、畜産経営への影響が顕著な「労働力確保」については主要事業として取り組み、畜産経営者の皆さんが参加する「ワークショップ」や「セミナー」を開催いたします。

「全日畜 運営委員会」から

総勢12名の委員で構成する運営委員会(委員長:梅田広氏)は、全日畜役員会のサポート隊です。全日畜理事長の諮問を受けて検討している「次世代の全日畜の在り方」は、誕生から12年を経過した全日畜の今後の組織運営を考える最優先課題です。



(後列) 石田委員 竹村委員 森山委員 武田委員代理 松本委員
(前列) 横山委員 牧野委員 小南副委員長 梅田委員長 小笠原委員 駒井委員

(その他の委員) 全屋副委員長 信田委員

(文中での団体の略称標記について)

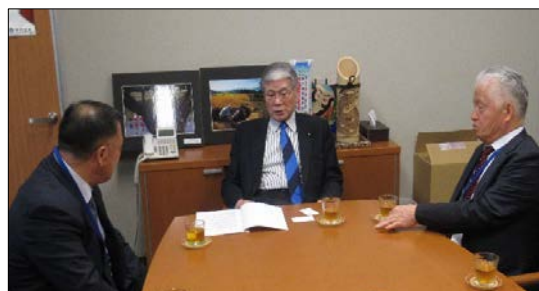
- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)

- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

昨年（令和元年）の全日畜活動を振り返ってみました

○国会議員への要請活動は主要事業

全日畜金子理事長（写真左）は、令和元年度の補正予算と令和2年度予算の編成作業が最終段階に入った12月18日、農林水産関係予算のキーマンである（自）農林部会長 野村哲郎 参議院議員を訪問して、畜産現場への支援策が確実に予算化されたか等について伺いました。



（議員会館で現場の実情を訴える金子理事長 12/18）

○政策立案は行政部局（農林水産省生産局）で

令和2年度予算の概算要求作業がピークを迎えた6月21日、全日畜の金子理事長他は農林水産省の枝元生産局長を訪問し、作業中の食料・農業・農村基本計画の見直しを反映する令和2年度予算の概算要求の概要について伺いました。枝元生産局長は翌月（7月）には官房長にご就任されました。



（官房長にご就任前の生産局長室にて 6/21）

○工業会会長（全日基理事長）の交代もありました

今期は、全日畜の最大の理解者であります工業会の会長の交代期（併せて全日基理事長も）、平野 宏 前会長からバトンを受け 岡本康治 新会長が就任。早速、各地域ブロックで開催された基金協会理事長会議等にご出席。商系3団体揃い踏みの諸活動をスタートされました。



（基金協会の理事長と意見交換される岡本会長 11/12）

○最終年度を迎えたJRA事業（スマート畜産事業）

昨年度からスタートした全日畜のスマート畜産の調査普及事業も終盤。アンケートによる実態調査、全国各地で開催したシンポジウム（5回）、最新技術導入の代表事例調査等、多くの関係者が高い関心を寄せています。北海道のシンポジウムではギガファームを大型バス2台で視察研修。



（北海道シンポジウムでは（株）ノベルズを研修視察 9/27）

○新たなJRA事業（労働力確保）もスタート

全日畜は、今年度から全国の経営者が抱えている共通の課題「安定した労働力確保」に取り組みました。地域で開催する集会で、自身の体験・実証事例等を発表いただくワークショップでは、対応方法等についてのアイデア等が沢山報告されました。この事業は令和2年度までの2年間事業です。



（地域で開催したワークショップでは沢山の事例の発表 7/25）

（文中での団体の略称標記について）

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）